

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	都市建設部		
	課名	水道課		
	係名	業務係		
	記入者		電話(内線)	652

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	水道料金検針・徴収業務委託		(3) 事業の 優先度	B
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体	市	
① 事業の区分	主要事業			(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質 一般事業費(ソフト事業)	
② 施策コード	25201	(総合計画掲載 ^ハ - ^ジ 87 ^ハ - ^ジ)		会計区分	企業会計	
基本目標(政策)	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)			財源区分	市単独	
基本施策	2-5安全な水を安定供給できるまちづくり(上水道)			予算科目	款 1 項 1 目 4	
施策	②健全な水道経営と水道サービスの充実			予算書上の 事業名称	総係費 (予算書 427 ^ハ - ^ジ に掲載)	
施策内容	1水道事業会計の効率的な運営による経営の健全化			(8) 事務分類	自治事務	
(5) 事業期間	開始	平成 18 年 4 月から		根拠法令	地方公営企業法, 水道法	
	終了	年 月まで (力年)				

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	水道利用者, 指定給水装置工事事業者, 結城市水道事業	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)	水道料金検針徴収業務及び給水装置関係業務の効率的・効果的な運営により, 給水収益の確保及び水道利用者へのサービスの向上を図る。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> 水道料金検針・徴収業務の民間委託 水道料金システムの委託 給水装置工事申請の受付, 審査, 窓口対応等の給水装置関係業務の民間委託 管路情報の補正作業, 管路情報システムの保守の委託 漏水調査の作業計画, 現場調査, 報告業務の委託 	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	<ul style="list-style-type: none"> 人件費削減, 業務の効率化, 収納率の向上等を目的に平成18年度から水道料金検針徴収業務の民間委託を開始した。 近隣事業体で給水装置関係業務委託の民間委託が進んでいることから, 同業務についても, 人件費削減, 業務の効率化等を目的に平成26年度から民間委託を開始した。
(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境, 市民ニーズ等) や市民・議会の要望, 意見等とそれに対する対応	平成14年度の水道法改正により第三者委託制度が創設され, 各水道事業体では民間委託や広域化が進んできている。現在は, 純利益を確保できているものの, 人口減少等による給水収益の減少や施設の老朽化・耐震化対策により収支がひっ迫することが予想される。今後, 更に民間に任せられる部分は委託し, 業務の効率化を図るとともに経費削減を進め, 施設の老朽化・耐震化対策のための資金を確保することが重要である。		

3. 事業コスト

行政評価 実施計画	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映	
● 予算内訳	実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)	
	27 年度	28 年度	29 年度 30 年度 31 年度	
事業内容				
水道料金検針・徴収委託	48,600	53,463		
給水装置関連業務委託	配水・給水費計上	配水・給水費計上		
管路情報管理委託	配水・給水費計上	配水・給水費計上		
漏水調査委託	配水・給水費計上	配水・給水費計上		
水道料金システム業務委託	12,690	13,576		
合計	61,290	67,039		
(1) 事務事業費の コスト 財源	国庫支出金 (千円)			
	県支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	61,290	67,039	
	一般財源 (千円)			
	合計 (千円)	61,290	67,039	
補助・起債制度名				

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）							
指標名	滞納整理	目標値	回/月		2	2	2
		実績(見込)値		2	2		
	給水装置工事申込み件数(年間)	目標値	件		400	400	400
		実績(見込)値		351	400		
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）							
指標名	収納率	目標値	%		100	100	100
		実績(見込)値		98	99	99	99
		達成率		98.3 %	98.5 %		
	給水装置工事検査合格率	目標値	%		100	100	100
		実績(見込)値		100	100	100	100
		達成率		100.0 %	100.0 %		

5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

給水停止に至る期間を3カ月から2カ月に短縮することで、給水収益の早期回収を図った。
平成28年4月から、個別に契約していた水道料金検針・徴収業務委託、給水装置関係業務委託、管路情報管理委託及び漏水調査委託を一本化し、市と民間との連絡体制を円滑化するとともに、コスト削減や事務の効率化を図った。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	人口減少等の影響により給水収益は伸び悩んでおり、給水収益の確保や人件費の削減を進めるうえで、民間委託する必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	行政、民間、両方で可能な事業である。
	手段の妥当性	A	妥当である	上記のとおり、給水収益の確保及び人件費の削減を図るためには民間に委託することが妥当である。
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	水道料金検針徴収業務委託前と比較して、給水収益の収納率が2%向上し、損益勘定職員の数が5名削減され効率性は向上している。今後は給水装置関係業務について人員効率を高めしていく必要がある。
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない。
有効性	成果の向上	A	上がっている	上記のとおり収納率の向上及び人員の削減が図られている。
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	契約では平成27年度における過年度収納率の目標を99.9%としているが、現在の徴収方法のみでは非常に厳しい状況にある。

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

水道料金検針徴収業務等を民間に委託することで、委託前と比較して、給水収益の収納率が2%向上し、損益勘定職員の数5名削減されており、非常に効果が高い事業である。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

水道料金検針徴収業務については、高額滞納者に対する支払督促制度等法的措置の活用、市外転出者に対する徴収の強化を図り、収納率の目標を達成することが重要である。
給水装置関係業務については、民間委託が軌道に乗った時点で、市水道事業の人員効率を高める必要がある。
水道料金検針・徴収業務委託、給水装置関係業務委託、管路情報管理委託及び漏水調査委託を包括委託することによるコストの削減及び蓄積される情報を、今後の水道施設の更新に充てる。

6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	水道料金検針徴収業務を平成18年度に、給水装置関連業務を平成26年度に民間委託し事業効率化や収納率向上に努め、併せて人員削減を図ってきたが、日常的な赤水や漏水処理、老朽施設の更新など、十分な人材の確保するため必要に応じて更なる民間委託化を進め人員の確保や経費の削減を図る。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。